

伊是名村諸方言の動詞の文法的な形式

當山奈那（琉球大学）

1. はじめに

本報告では、沖縄島の北方に位置する伊是名島の勢理客集落、伊是名集落で話される方言（以降、勢理客方言、伊是名方言と呼ぶ。また、伊是名島内の諸方言の総称として伊是名村諸方言を用いる）を対象とし、動詞活用の資料を掲載する。本報告内のデータは、伊是名村教育委員会と伊是名村内の方のご協力のもと、勢理客の勢理客老人クラブのみなさま（2019年12月21日、2020年2月10日）¹、字伊是名出身である H.S さん（2019年9月27、28日）への面接調査によって得たものを用いている。

2. 伊是名方言の動詞の特徴

勢理客方言の動詞活用一覧

強変化	基本語幹		連用語幹	音便語幹	
	否定形	禁止形	非過去形	第三中止形	過去形
Im1	num-an（飲まない）	num-inna	nun-un		nu-dan
Im2	sukum-an（死なない）		sukun-un		suku-dan
Ib	aciw-an（遊ばない）				aei-dan
It	（持たない）	mute-inna ²	mute-un		mu-tean
Ik	ik-an（行かない）		its-un/ndz-un		i-dzan/n-dzan
Ig	φug-an（漕がない）		φudz-un		φu-dzan
Ih	（出さない）		ndzas-un		ndza-tean
	turas-an（とらさない）		turas-un		tura-tean
	（落とさない）				utu-tean
Irl	ur-an（売らない）		u-in	u-e:	u-tan
	tur-an（取らない）			tu-e:	tu-tan
	（帰らない）			ke:-e:	ke:-tan
	φur-an（降らない）		φu-in	φu-e	φu-tan
	φur-an（掘らない）		φu-in		φu-tan
	haur-an/φu:r-an（かぶらない）		φu:-in		hau-tan/φu:-tan
	teir-an（切らない）			ki:-e: ³	tei-tan

¹ 本来であれば、ご協力いただいた方すべての氏名、生年月日、言語環境なども記録する必要があるが、初めての調査地であったため、ラポール形成を重視し、「勢理客老人クラブ」というクラブ名での掲載にしてほしいというご要望を尊重する形で資料を提供する。調査時のご協力者は8名ほどで男女いらっしやった。60代後半～80代の方である。

² mut-inna である可能性がある。

³ tei:-e: である可能性がある。

強変化	基本語幹 否定形 (乗らない)	禁止形 nu-inna	連用語幹 非過去形	音便語幹 第三中止形	過去形
Ir2	arar-an (洗わない) ho:r-an (買わない) 'wi:r-an (酔わない)		ara-n φu:-n 'wi:-n	ara-e: ho:-e: 'wi:-e:	ho:-tan 'wi:-tan
IIe1	eitir-an (捨てない) ki:r-an (くれない) (寝ない) kir-an (蹴らない)		eiti:-n ki:-n ki:-n	eiti-e: nu:-e:	eiti-tan ki:-tan ki-tan
IIe2	ukir-an (起きない) urir-an (降りない) utir-an (落ちない)		uki-n uri:-n uti:-n		uki-tan uri-tan uti-tan
IIi	teir-an (着ない)		tei-n		tei-tan
IIi	ur-an (いない)		u-n		ui-tan/u-tan
III			a-n (ある)		ai-tan/a-tan
III	sa:n (しない)		sun		eitean
III	φu:n (来ない)	φu:nna	teu:n		tean
IIi	mi:r-an (みない) kwan (食べない) ?ja:n (言わない) ja:n (座らない) (ない)		nu:n kwen ?jun ju:n ne:n	?ie:	n-tean kwa-tan itean

3. 文法論的なカテゴリーと文法的な形式

羅列的な記述になってしまうが、これまでに得られたデータを用いて可能な限り文法論的なカテゴリーに基づいて文法的な形式をまとめてみることにする。形態論的な形式を中心にまとめるが、整理ができておらず、語彙的な形式までふくみこんでしまっているところもある。字勢理客の用例には〔勢〕、字伊是名の用例には〔伊〕を付す。

3.1 テンス

テンスは動詞がさししめず動作の時間的な位置づけをあらわす文法論的なカテゴリーである。伊是名諸方言のテンスは、非過去形と過去形とで対立している。非過去形は、第一中止形+un(おる)という形からなり、過去形は、音便語幹に-dan、-tean、-dzan、-tan という形からなる。他の北琉球諸語にみられる過去に起こった出来事を話し手が直接確認したことを明示する第二過去形とよばれる形式もみられた。第二過去形は、第一中止形に存在動詞un(おる)の過去形 utan(おった)がくっついた形からなる。否定形に第二過去形はない。

		非過去	過去	
			第一過去	第二過去
肯定	非強調	カヌン (食べる)	カダン (食べた)	カヌタン (食べよった)
	強調	カヌル (食べる)	カダル (食べた)	未確認
否定		カマン (食べない)	カマナータン (食べなかった)	

〈肯定・非過去形〉

話し手・聞き手以外の第三者の予定された行動や、実現が確実な出来事を伝える。

1. アングワーガ トーキョーカラ チュン。
姉さんが東京から来る。 [勢]
2. アングワーヤ イチ チューロー。アチャー チュン。
姉さんはいつ来るの。(明日、来る。) [勢]
3. アングワターヤ クーコーハラ バスネ チュン。ハイヤーヤ アラン。
姉さんたちは空港からバスで来るんだ。(タクシーじゃない。) [勢]

話し手がこれから実現する行動についての意志を表して伝えるときにも用いられる。

4. ウリヤ ワガ カヌン。
これは私が食べる。 [伊]
5. チャクヌ ファー、 マチャ アキン。
客が来るなら店を開ける。 [勢]
6. フニガ チュールマリ ナートゥネ マチュン。
船が来るまで港で待つ。 [勢]

具体的な時間の流れの中で起こる出来事だけでなく、習慣的な出来事、反復して起きる出来事、社会的な通念として知られる知識などを伝える。

7. ワッターヤ ナチー ナロー メーナチ ゴーヤー カヌン。
我が家では、夏になったら、ニガウリを毎日食べる。 [伊]
8. パッパヤー カモー、 チー ユー ンジーン。
パイヤを食べたらお乳がよく出る。 [伊]

人の性格や物の特徴、特質など、時間的なありか限定のない出来事を伝える。

9. ニクトゥ グンボー ニーロー アクガ チョーラ ンジーン。
肉とゴボウを煮たら、アクがたくさん出る。 [伊]

話し手が直接確認した出来事を伝える。

10. ムール ニーラナン ヤーニンジュヌ ブンヤ アン。
全部煮なくても家族の分はあるよ。 [伊]

〈肯定・強調形〉

11. シジャガル カヌル。 ワンヤ カマン。
姉さんがこそ食べるんだ。私はたべない。 [伊]
12. ヤーガ カマナーコーヤ フィージャヌ シルヤ ヌファイル スンドー。
もしおまえが食べなかったらヤギ汁は残るだろう。 [伊]

〈肯定・第一過去形〉

話し手・聞き手以外の第三者の予定された行動や、実現が確実な出来事を伝える。

13. サージ、 フジュヤ チャーンドー。
サシバ、去年は来よったよ。 [勢]
14. ムカシヤ フーヌ トゥシン アタン。
むかし、来なかった年もあったよ。 [勢]
15. ユービンヤヤ キーサ チャン / チョータンロー。
郵便屋はさっき来たよ。 [勢]
16. ムール ニーランマードウ、 フィーヤ チャータン。
ぜんぶ煮ないうちに火が消えた。 [伊]

〈肯定・過去・強調形〉

17. ヌフヨーヌ ティンプラヤ ムル アンマーガル カダル。 ワンヤ アラン。
残ったテンプラは、全部母さんがこそ食べたんだ。(俺じゃないよ。) [伊]
18. ワザワザ シマンケ チャーシガ アミガガイル ファイル。
せっかく島に来たのに雨ばかり降っていた。 [勢]

〈肯定・第二過去形〉

話し手が直接確認した出来事を伝える。1人称が動作主体になることはできない。

19. シジャン カヌタン。 ンチャイハニ? / シジャン カヌタン。 ンチャイハニ?
ねえさんも食べよっただろう? 見ただろ? [伊]
20. タンメーヤ ムン カマントウ クスイ ヌヌタン。
おじいさんはご飯を食べないで薬を飲みよった。 [伊]

〈否定・非過去形〉

否定文の述語に動詞の非過去形があらわれる場合、発話時以後の出来事の肯定的な想定を否定する。1人称主語の場合は、態度を表明する。最後の例では、話し手や聞き手の一般的な知識(毎年決まった時期にサシバが来る)から予測される出来事のアクチュアル化を否定している。

21. アチャヤ フーン ハジ。 ハルンケ イチュトウ フーン。
明日は来ないんだろう? (うん、畑に行くから来ない。) [勢]
22. ウヌ ターンム タガ カノー。
このサトイモは誰が食べるの?
シジャガル カヌンダー。 ワンヤ カマン。
姉さんがこそ食べるんだ。私はたべない。 [伊]

23. クーヤ ナンクワンヤ ニーラン。
 今日のかぼちゃを煮ないの？
 チンヌー ニータトゥ、クーヤ ニーラン。
 昨日煮たから、今日は煮ないんだ。 [伊]
24. オジーン フーニ。
 おじさんも来ないの？
 ンー。オジサンヤ シグトゥ アイトゥ、フララン。
 うん、おじさんは仕事があるから、来ない。
 オジサंगा フントゥ、オバーン フン。
 おじさんが来ないから、おばさんも来ない。 [勢]
25. ウヌ ナーウィネ ニールイ。
 この鍋で煮るの？
 ンー。フーハートゥ、ウヌ ナーウィネ ニーラン。
 ううん、小さいからその鍋では煮ない。 [伊]
26. サシバヤ フンドゥ チェー ネーン。
 サシバ、今年は 来てないねえ。(独り言のように) [勢]
 フンドゥヤ ハジ ウフハヌ チェー ネーサ。
 今年は台風が多いから、来てないんだよ。 [勢]

一般的な(慣習的な)共有知識としての肯定的な想定を否定する例である。

27. イキガヤ パッパヤー カネーン、チーヤ ンジラン。
 男はパイヤを食べても、お乳は出ない。 [伊]
28. デークニヤ ユー ニーシガ、シウイヤ ウンテマディ ニーラン。
 大根はよく煮るのに冬瓜はあまり煮ない。 [伊]

過去の出来事の肯定的な想定を否定する場合にも非過去形を用いることがある。相手への反駁性が強かったり、気づきや発見であったりする場合である。

29. ムール アンマーガル ニータン。
 全部母さんがこそ煮たんだ。
 シウイヤ ハンシーガル ニーン。フカヌ チューヤ ニーラン。
 トウガンはおばあさんがこそ煮るんだ。ほかの人は煮ない。 [伊]
30. アンヤミ。シカントゥ、グンボーヤ ニーラン。
 そうか、好きじゃないから、ゴボウは煮ないんだ。 [伊]
31. ウットウガ ユー ニーエン、タガン カマン。
 弟が魚を煮ても、だれも食べない。 [伊]

〈否定・過去形〉

現在と切り離された過去の特定時に、アクチュアル化することが想定された出来事の否定をあらわす。

32. サトイモ ニーリテ イチャシガ、ニラナーティ？
 サトイモを煮ろっていったのに、煮なかったのか？
 シジャガ ニータトゥ ワンヤ ニーラナータン。
 兄さんが煮たから、私は煮なかった。 [伊]
33. ワンヤ ワタ ヤダトゥ、 カマナータン。
 私はお腹が痛かったから、食べなかったんだよ。 [伊]
34. ヌーガ フーナータン？
 なぜ来なかったの？
 イチュガハヌ、 ハナジン ヤネー、 フーナータン。
 忙しかったし、頭も 痛かったから、来なかった。 [勢]

過去形に-saja:を後接させて、発見や気づきなどのミラティブな意味をあらわす例が確認された。

35. クーヤ フーナン シヌンテ イチャシガ チャーサヤー。
 今日は来なくてもいいって言ったのに、来たのかな？ [勢]

3.2. アスペクト

伊是名諸方言のアスペクト・テンス形式には、スル、シタ、シオル、シオッタ、シアリオル、シアリオッタ、シアリアルキオル相当形式が確認されている。

このうち、シオッタ相当形式は、連用語幹に-taN、-utaN を後接させて作る。シアリオル相当形式は、融合語幹に-joN、-o:N を後接させて作る。シアリオッタ相当形式は、融合語幹に-jo:-taN、-o:-taN を後接させて作る（スル、シタ、シオル相当形式の単語づくりについては、2節を参照されたい）。

伊是名諸方言は、完成相と継続相の二項対立型のアスペクト体系をもつ。これは、首里方言と共通しているが、首里方言の継続相がシテ中止形に存在動詞を接続させて作られるのに対して、伊是名諸方言の継続相はシアリ中止形に存在動詞を接続させている。用例が少ないため、スル、シタ、シオル相当形式以外の形式について、羅列的ではあるが見ていく。

〈シアリオル相当形式〉

シアリオル相当形式は、文法的に継続の意味をあらわす。主体動作動詞の場合、動作の継続をあらわし、主体変化動詞の場合、変化結果の継続をあらわす。

36. ウヌクワーヤ ガッコーンケ イカナ /フーナ、 ヤーネ ユフイル / ユフヨーン。
 あの子は学校に来ないで、家で休んでいる。 [勢] ※主体動作動詞
37. ガッコーンケ ンジャガチ、 ドウシヌ ヤーケ ンジョーン。
 学校に来ながら、友だちの家に行っている。 [勢] ※主体変化動詞

〈シアリオッタ相当形式〉

シアリオッタ相当形式は、過去の継続の意味と、現在パーフェクトをあらわす例がみられた。

○過去の変化の結果の継続

38. アバーイ、 チヌー チョータル チューガ クーン チョータン。
うん、昨日、来た人が今日も来ていた。〔勢〕※主体変化動詞
39. ユービンヤヤ キーサ チャン / チョータンロー。
郵便屋はさっき来ていたよ。〔勢〕

○現在パーフェクト？

40. ワガ イチャルグトゥ チョータン。
私が言った通り、来ていただろう？〔勢〕
41. アンヤミ /アバーイ、 チョータン / チョーテイ。
そうか、来ていたんだ。(私は見なかったけど)〔勢〕

〈シアリアルキオル相当形式〉

動作の進行の意味をあらわす例がみられた。

42. ワレーヌ フーンマール クワーシ ウチョーカニ / ホーヨーツン。
子どもが来ない前(来る前に)にお菓子を用意している。〔勢〕

〈シオッタ相当形式〉

話し手が直接知覚した出来事を伝える。

43. シジャヤ ミーチン カヌタン。
兄さんは三つも食べよった。〔伊〕
44. ハンシーヤ ユーバン カネー、 ヌーイタン。
おばあさんは夕ご飯を食べて寝よった。〔伊〕
45. タンメーヤ ムン カマントウ クスイ ヌヌタン。
おじいさんはご飯を食べないで薬を飲みよった。〔伊〕

〈シアリアル相当形式？〉

46. タルン フンシガ マチャ アキヤール？ / アキヤールイ？ / アキヤガ ヤルイ？
誰も来ないのに店を開けてあるの。〔勢〕

3.3. 疑いたずね

聞き手へのはたらきかけ性が低い形式である。非過去形では、尾略形に-kaja:、あるいは勢理客のみ-gaja:を後接させている例を得ることができた。過去形では、伊是名では尾略形に-ka (ja:)、勢理客では-gaja:を後接させる。話し手の所有している情報が不十分で確信を持たない出来事について、話し手の疑いを述べる。

	非過去	過去（第一過去）	過去（第二過去）
肯定	カヌカヤー（食べるか） カヌガヤー（食べるか・勢）	カダカ（ヤー）（食べたか） カダガヤー（食べたか・勢）	未確認
否定	カマンカヤー（食べないかな）	カマナータカヤ（一）（食べなかったかな）	

〈非過去形〉

47. サージ、アケー チューガヤー。
サシバ、来年は来るかなあ。（独り言のように）〔勢〕
48. アングラーガ チュートゥ マーガン チューカヤー。
姉さんたちが来るから、孫も来るかな。〔勢〕
49. スーン バサナイ カヌカヤー。
父さんもバナナ食べるかなあ。（独り言のように）〔伊〕

〈過去形〉

50. イチ チャーガヤー。
いつ来たのかなあ。（独り言のように）〔勢〕
51. イヌガル クロータカ。
犬が食べよったのかな。〔伊〕
52. ヌガ ウンテ チョーラ ニータカ。
何故あんなにたくさん煮たのかな。〔伊〕
53. タガ ナンクワン ニータカヤー。
誰がカボチャを煮たのかなあ。（おいしいなあ。独り言のように）〔伊〕

疑いの文を使って、第三者の未来の行動について表すとき、その行動が話し手にとって望ましい出来事のばあい、話し手のささやかな願望を遠慮がちに述べる。

54. デークニン マンナ イレー ニーランカヤー。
大根も一緒に煮ないかなあ。（独り言のように）〔伊〕

3.4. おしはかり

話し手が直接確認していない出来事、想像したり頭の中で考えたりした出来事を伝える。尾略形に-ruをつけた形と形式名詞 hadzi~ϕadzi（はず）を組み合わせた分析的な形式が述語の形式としてあらわれる。

	非過去	過去（第一過去）	過去（第二過去）
肯定	カヌル ハジ（食べるだろう）	カダル ハジ（食べただろう）	チュータル ハジ（来ただろう）
否定	カマン ハジ（食べないだろう）	カマナータル ハジ（食べなかっただろう）	

〈肯定・非過去形〉

55. スーン カヌル ハジ。
父も食べるはず。(好きだから) [伊]

確認要求の形式と言い換えが可能な例が多かった。

56. シジャガ ニーハニ。 / シジャガ ニール ファジ。
姉さんが煮るだろう / 煮るはず。(たまには料理してみたいって言っていたから)
[伊]
57. フンドウヤ チェーンネーシガ アキエー チェーサニ / チュール ハジ。
今年は来なかったのに来年は来るの? [勢]
58. ユーニガタ チャク チーエーサニ / チュール ハジ。
夕方には客が来るだろう / 来るはず。 [勢]

〈肯定・過去形〉

59. クワーシヤ ウットウガル カダル ハジ。
お菓子は妹が食べただろう / 食べたはず。 [伊]
60. トゥナイヌ マイガル クワータル ハジ。
隣の猫が食べたはずよ。 [伊]
61. アンマーガル ニータル ファジ。
母さんが煮たんだろう? (母さんが煮るって言ってたから) [伊]
62. アバーイ、 ナーヒン ソーコヤ チャクヌ チャー ハジ。
うん、もう少しは客が来ただろう / 来たはず。 [勢]
63. キッサ トウングワネ ウイタル シジャガ ニータル ハジ。
さっき台所にいた姉さんが煮よっただろう。煮たはずよ。 [伊]

〈肯定・第二過去形〉

64. ヘークハラ シーブン ソータロー / ソーコーヤ、 チャクヤ ナーヒン チュータル ハジ。
以前からサービス (おまけ) をしていれば、客はもっと来よっただろう [勢]

〈否定・非過去形〉

65. オーサカヌ ニーサンヤ フーン ハジ。
大阪の兄さんは来ないだろう。 [勢]
66. アチャヤ フーン ハジ。ハルンケ イチュトウ フーン。
明日は来ないんだろう? (うん、畑に行くから来ない。) [勢]
67. グンボーヤ ニーランハニ。 / グンボーヤ ニーラン ファジ。
ゴボウは煮ないだろう / 煮ないはず。(嫌いだから) [伊]

〈否定・過去形〉

68. スーン カマナータン。／スーン カマナータル ハジ。／スーン カマン ハジ。
 父さんも食べなかつたらう／食べないはず。(嫌いだから) [伊]
69. アヘール ナママディ タルン フナータル ハジ。
 だから、今までだれも来なかつたらう／来なかつたはず。 [勢]
70. シジャヤ ニーラナータル ハジ。
 姉さんは煮なかつたらう／煮なかつたはず。 [伊]

3.5. 質問法

		非過去	過去	
			第一過去形	第二過去形
肯定	疑問詞	カノー (食べる?)	カダー (食べた?)	カヌタ (食べよつた?)
	肯否	カヌミ (食べる?) ニールイ (煮るの?)	カダンナー (食べた?)	ヌヌタカー (飲みよつたか?)
	確認要求	カミーハニ (食べるでしょ?)	チャーハニ (来たでしょ?)	※未確認
否定	疑問詞	カマンル (食べないの?) フナー (来ないの?)	カマナーティ (食べなかつたの?) フナータン (来なかつたの?)	
	肯否質問	ニーラン (煮ないの?) カマニ (食べないの?)	ニーラナーティ (煮なかつたの?) ニーラナータン (煮なかつたの?)	
	確認要求	カマンハニ (食べないんでしょ?)	カマナータンハニ (食べなかつたんでしょ?)	

3.5.1. 疑問詞質問形

疑問詞質問文の述語は、非過去形の場合、連用語幹に-o:、-jo:を後接させた形式があらわれる(不規則動詞の「来る」は *teu:ro:*)。第一過去形は、動詞の語末の *n* を脱落させた形式(尾略形)及び、尾略形の末尾母音を長母音にした形が用いられている(両者はアロフォンと捉えている)。また、第二過去形は、尾略形の形式がみられた。

〈肯定・非過去形〉

○連用語幹に-o:、jo:を後接させた形式があらわれる(不規則動詞の「来る」は *teu:ro:*)

71. ウヌ ターンム タガ カノー?
 このサトイモは誰が食べるの? [伊]
72. クーヤ ヌー ニーヨ?
 今日は何を煮るの? [伊]
73. アングラーヤ イチ チューロー。アチャー チュン。
 姉さんはいつ来るの? (明日、来る。) [勢]

〈肯定・第一過去形〉

○尾略形の末尾母音を長母音にした形

74. クーヌ ナーシーヤ ヌー カダー?
今日の朝ごはんは何を食べたの? [伊]
75. ヌーシंगा チャー?
なぜ、来たの? [勢]
76. イクタイ チョーター?
何人、来ていたの? [勢]

○尾略形

77. クーヌ ターンムヤ タガー ニータ?
今日の里芋は誰が煮たの? [伊]

疑問詞質問文で強調形が述語にあらわれている例をあげる。どちらも、直説法の形式であらわれており、文末のイントネーションを上昇させることで質問文であることをマークしている。

78. ヌーガ チャー?
なぜ、来たの? [勢]
79. グンボーヤ ニーンナテ イチャシガ ニール シチ?
ゴボウは煮るなっていったのに、煮たのか? [伊]

〈肯定・第二過去形〉

80. ウマネ ウチャル ユーヤ タガ カヌタ?
そこに置いた魚は誰が食べよったの? [伊]

〈否定・非過去形〉

81. レイゾウコネ ワーシ アイシガ ヌガ ニールンル?
冷蔵庫に豚肉があるのに何故煮ないの? [伊]
82. ヌガ フィージャシル カマンル? マーク ネーントゥ? /マーク ネーンル
イ?
何故ヤギ汁を食べないの? おいしくないの? [伊]
83. ヌーガ フナー?
なぜ来ないの? [勢]

〈否定・過去形〉

84. ワーシガ レイゾウコネ アイシガ ヌガ ワーシヤ ニールナータ?
豚肉が冷蔵庫にあるけど、何故豚肉を煮なかったの? [伊]
85. ヌーガ フナータン?
なぜ来なかったの? [勢]

86. ウカメー ヌフヨーシガ、 タガラ カマナーティ?
粥が残っているけど、誰が食べなかったの? [伊]

3.5.2. 肯否質問形

肯否質問文の述語の動詞は、非過去形の場合、尾略形に-mi を後接させた形式、尾略形に-rui を後接させた形式がみられた。第一過去形の場合、-na:を後接させた形式、尾略形に-ti:を後接させた形式がみられた。第二過去形では、尾略形に-ka:を後接させる。

また、否定の形式のみ、直接法と同じ形式を用いている例と、-ti:を後接している例が見られ、過去形の場合は、疑問詞質問の形との区別がなくなっているようだった。それぞれの形式を述語にもつ文の違いは不明である。

〈肯定・非過去形〉

○尾略形に-mi を後接させた形式

87. アングウーヌ 'ウトウン チューミ?
姉さんの旦那(夫)も来るの? [勢]
88. ヤマトウンチュン ナベラー カヌミ?
本土の人もヘチマを食べるの? [伊]
89. シマンケ フーナコー、 シマヌ フトゥヤ ワハイミ?
島に来なければ、島のいいところはわかるか? [勢]

○尾略形に-rui を後接させた形式

90. ウヌ ナーウィネ ニールイ?
この鍋で煮るの? [伊]
91. タルン フンシガ マチャ アキヤール? / アキヤールイ? / アキヤガ ヤルイ?
誰も来ないのに店を開けているの? [勢]

〈肯定・第一過去形〉

92. ヤーガル アンダーギー ムール カダンナー?
お前が天ぷらを全部食べただろう? [伊]
93. ユービンヤ チョーティ? フントーヤミ?
郵便屋は来ていたの? 本当なの? [勢]

〈肯定・第二過去形〉

94. タンメーヤ ムン カネー、 クスイ ヌヌタカー。
おじいさんはご飯を食べて薬を飲みよったか。 [伊]

〈否定・非過去形〉

○直説法と同形式が述語にあらわれている

95. チンヌーン ワーシ ヤタトゥ、 クーヤ ワーシ ニールン。

きのうも豚肉だったから、今日は豚肉は煮ないんだろう？ [伊]

96. クーヤ ナンクワンヤ ニーラン？
今日はかぼちゃを煮ないの？ [伊]

○勧誘形+ni

勧誘形に-ni をつけた形で回答している例もみられた。形式上は、否定の質問形（しないのか）である。

97. ヤマトウンチュヤ ナベラーヤ カマニ？
本土の人はへちまを食べないの？ [伊]

しかし、人称や、話し手と聞き手との関係によって、勧誘文や命令文になる。人称が1, 2人称の場合は勧誘文になり、聞き手へ動作をうながす。提案のような意味もでてくる。最後の例は聞き手に動作の促しを強く要求しており、命令文に近い。

98. アケーン タイネ マジュン フーミ？ / フーニ？
来年も二人で一緒に来ないか？ [勢]
99. オジーン フーニ。
おじさんも来ないの？ [勢]
100. チューヌ フーナ、 マチャ シミラニ。
もし客が来ないなら 店をしめようか。 [勢]
101. アングワターガ フンマール ヤーヌ ナカ カタジキラニ。
姉さんたちが来ないうちに家の中を片付けないか。 [勢]

〈否定・過去形〉

102. チンヌーン ワーシ ニタトゥ、 クーヤ ニーラナータン。
昨日も豚肉を煮たから、今日は煮なかったんだろう？ [伊]
103. イチュクンケー フーテ イチャシガ フーナータン。
いどこにも来いっていったのに、来なかったのか？ [勢]
104. サトイモ ニーリテ イチャシガ、ニラナーティ？
サトイモを煮ろっていったのに、煮なかったのか？ [伊]

また、次のように述語が強調形になっており、分析的な形式であらわれている例もみられた。用例が少なく、検討はできないが、非難めいたニュアンスになっているようである。

105. カミンナチェ イチャシガ カミル シチャカ。
食べるなっていったのに、食べたのか？ [伊]
106. カミーテ イチャンテ、 カマンル アイタカー？
食べろっていったのに、食べなかったのか？ [伊]
107. イチュクンケー フーテ イチャシガ フーンドウ アイティ。
いどこにも来いっていったのに、来なかったのか？ [勢]

3.5.3. 確認要求

話し手の情報の捉え方が妥当であることの確認を聞き手に求める。肯定形の場合は第一中止形か第三中止形に **-hani** を後接させてつくる。否定形の場合は直説法の形式に **-hani** を後接させる。

〈肯定・非過去〉

108. ヤーン バサナイ カミーハニ?
お前もバナナを食べるだろう? [伊]
109. ヤーン トウチドゥチャ ニーハニ?
お前も時々は煮るだろう? [伊]
110. アサティーヤ ウラン チーハニ / チェーハニ?
しあさっては君も来るだろう? [勢]

〈肯定・過去〉

111. ウラヤ チンヌン チャーハニ / チェーサ ナティ。 ワイ、チャン。
おまえ昨日も来ただろう? (うん、来たよ。) [勢]
112. シジャン カヌタン。 ンチャイハニ? / シジャン カヌタン。 ンチャイハニ?
ねえさんも食べよっただろう?見ただろう? [伊]
113. アンマーン ウントウシェール ニーヤツタトゥ、 ンチャイハニ?
母さんもそうやって煮よっただろう?見ただろう? [伊]

〈否定・非過去〉

114. ハンシーガ ニーラナーコー、タガン ニーランハニ。
もし おばあさんが 煮なかったら 誰も 煮ないだろう。 [伊]
115. グンボーヤ ニーランハニ。 / グンボーヤ ニーラン ファジ。
ゴボウは煮ないだろう/煮ないはず。(嫌いだから) [伊]
116. ヤーヤ フィージャーシルン カマンハニ?
お前はヤギ汁も食べないんだらう? [伊]
117. アリヤ ドウシヌ チャーンテン チャーン ンジャハニ。
あいつは友だちが来るのにお茶さえ出さないのか? [勢]

〈否定・過去〉

118. ヤーン ウカメー カマナータンハニ?
お前もお粥を食べなかったんだらう? [伊]

確認要求の形式として、次のように、肯否質問の否定の形であるアラニ (～ではないのか?) とくみあわせた分析的な形式を用いる例がみられた。

119. チンウーヤ フナータン アラニ?
昨日は来なかったんだらう? [勢]

3.6. 命令文

命令形を述語に用いる命令文の他に、継続相の形式の尾略形+ki（しておけ）の形式がみられた。

○命令形を述語に用いる命令文

120. ナー カタジキートゥ、ヘーク カミー。
もう片付けるから、急いで食べろ。 [伊]
121. ユーヤ ニーローヤ、ナーフィ マギハル ナーウィ チカリ。
魚を煮るなら、もう少し大きい鍋を使え。 [伊]
122. ユーヌ アタイヤ マリティケーティヤ ドゥーネ ニーリ。
魚ぐらいたまには自分で煮てみろ。 [伊]
123. ユー ニーロー、マース イフィー イリリ。
魚を煮るなら、塩を少し入れろ。 [伊]
124. ドゥシ ソーエー、ガッコーク フー。
友だちを連れて学校に来い。 [勢]

○継続相の形式の尾略形+ki（しておけ）

125. ムール カヌヌヤカー マチョーキ。
ぜんぶ食べるまで待っておいて。 [伊]
126. クー ニーラヌ ワーシヤ レイゾウコンケ イリヨーキ。
今日 煮ない豚肉は 冷蔵庫に 入っておいて。 [伊]
127. ユー ムール ニーヌヤカー マチョーキ。
魚を全部煮るまで待っておいて。 [伊]

○「してみろ」に相当する形式？

128. ユーヌ アタイヤ マリティケーティヤ ドゥーネ ニーエンビー。
魚ぐらいたまには自分で煮てみろ。 [伊]

3.7. 勧誘文

勧誘文の述語は、基本語幹に-aをつけた勧誘形がある。また、質問文の否定の形式が多くあらわれている（→3.5.質問法を参照。なお、に-niをつけた例は、聞き手に動作の実行を提案しており、勧誘形よりもはたらきかけ性が強いようである。）

129. クーン マンナ カマー。
今日も一緒に食べよう。 [伊]
130. クーヤ ナゴンケ カミンガ イカー。
今日は名護に食べに行こう。 [伊]

3.8. 意志文

話し手がこれから実現する行動についての意志をあらわして伝える。動作主体は1人称であり、述語形式は勧誘形があらわれる。

131. ウリヤ ワガ カマー。
これは私が食べよう。 [伊]
132. ヤーガ ニラナーコー、 ワガ ニーラ。
お前が 煮ないなら、俺が煮よう。 [伊]
133. チンヌーヤ ニーラナータトゥ クーヤ ニーラ。
昨日は、煮なかったから、今日煮よう。 [伊]

直説法と同形式で意志文をあらわす例がみられた。二つ目の例は、勧誘形に言い換えることができるとのことである。

134. ヤーガ カミーフナーコー、 ワガ カヌン。
お前が食べきれないなら、俺が食べよう。 [伊]
135. ナンマハラ チュール チュンケヤ シーブン サーニ / スサ / トウラサニ。
今から来る人にはサービス (おまけを) しよう。 [勢]

○継続相の形式の尾略形+ki (しておけ)

136. ワレーヌ フーンマール クワーシ ウチョーカニ / ホーヨーツン。
子どもが来ない前 (来る前に) にお菓子を用意しておこう。 [勢]
137. アングワータガ チューロー、 クワッチー チュクヨーカ。
姉さんたちが来るなら、ご馳走をつくっていようか。 [勢]

3.9. 禁止文

禁止形は基本語幹に- (i) nna のついた形式があらわれる。

138. アサッティヤ ヤーネ ウラントゥ フーンナ。
あさっては、家にいないから、来るな。 [勢]
139. ムン カネガチナー、 テレビ ミーンナ。
ご飯を食べながらテレビを見るな。 [伊]
140. ウヌ トーフヤ シーヨートゥ、 カミンナ。
その豆腐は腐っているから、食べるな。 [伊]
141. ジンガ イチャハットゥ、 カマーコー ホーンナ。
お金がもったいないから、食べないなら買うな。 [伊]

3.10. 可能表現

○サリーン条件形

142. クワンソー カモー、 ヌーラリーン。

- クワンソウを食べれば眠れる。〔伊〕
143. クワンソー カマナータンテン ヌーラリン。
クワンソウを食べなくても眠れる。〔伊〕
144. クワンソー カマナータシガ ユー ヌーラッタン。
クワンソウを食べなかったのによく眠れた。〔伊〕
145. クワンソー カダシガ、ヌーララナータン。
クワンソウを食べたのに眠れなかった。〔伊〕
146. ンー。オジサンヤ シグトゥ アイトゥ、フララン。
うん、おじさんは仕事があるから、来ることができない。〔勢〕

○シーフン条件形

147. シジャヤ カミーファンヌ ウッサ ニータン。
兄さんは食べきれないくらい煮よった。〔伊〕
148. イチュナハヌ チーファンサ。
忙しいから、来ることができないんだ。(来たくないわけじゃない。)〔勢〕

許可

149. クーヤ フーナン シヌンテ イチャシガ チャーサヤー。
今日は来なくてもいいって言ったのに、来たのか?〔勢〕
150. クー カダトゥ、アチャヤ カマナン シヌン。
今日食べたから、明日は食べなくてもいい。〔伊〕
151. ウヌ ユーヤ ヒッサ ワハハートゥ ナー ワハハナン シヌン。
そのお湯はさっき沸かしたから、もう沸かさなくてもいい。〔伊〕

不許可

152. タルン カマンヌ ムンヤ ホーエーヤ ナラン。
誰も食べない物は買ってはいけない。〔伊〕

3. 11. 中止形（連用形）

中止形は、動詞が述語になっても文が続く場合に使われる形である。中止形には、第一中止形と、第一中止形に助辞=te がついた形の第二中止形、そして、第一中止形に存在動詞「アリ」（有り）が接続した形の第三中止形がある。第二中止形は伊是名諸方言にはなく、第三中止形が積極的に用いられている。第三中止形は、単語づくりの要素にもなるが、単独で文の中にあられて2つの動作の時間的な関係（先行、同時）もあらず。

○先行後続の例

153. アングラーヤ ヒコーキネ チェー、フニネ ケータン。
姉さんたちは飛行機で来て、船で帰った。〔勢〕
154. タンメーヤ ムン カネー、クスイ ヌヌタカー。
おじいさんはご飯を食べて、薬を飲みよったか。〔伊〕

155. ハンシーヤ ユーバン カネー、ヌーイタン。
おばあさんは夕ご飯を食べて、寝よった。[伊]

○同時の例

156. デークニン マンナ イレ ニーランカヤー。
大根も一緒に入れて煮ないかなあ。(独り言のように) [伊]
157. スーヤ ドゥーネ ユー ニーエー、アマザキヌ ムン ツクタン。
父さんは自分で魚を煮て酢の物を作った。[伊]
158. アワティエー ユージヌ アエール、チャイ。アシーウインガ チェー ネンドー。
急ぎの用事があって、来たんだよ。(遊びに来たんじゃないよ。) [勢]

中止形の否定の形は、基本語幹に-ana を後接させてつくる。不規則動詞「来る」は「フーナ」となる。

159. ユー ニーラナ ヌー ニーヨー。
魚を煮ないで、何を煮るの。[伊]
160. ウヌクローヤ ガッコーンケ イカナ /フーナ、ヤーネ ユフイル / ユフョーン。
あの子は学校に来ないで、家で休んでいる。[勢]

目的形

161. アワティエー ユージヌ アエール、チャイ。 アシーウインガ チェー ネンドー。
急ぎの用事があったから、来たんだよ。(遊びに来たんじゃないよ。) [勢]
162. クーヤ ナゴンケ カミンガ イカー。
今日は名護に食べに行こう。[伊]

同時形

163. ガッコーンケ ンジャガチ、ドゥシヌ ヤーケ ンジョーン。
学校に来ながら、友だちの家に行ってみた。[勢]
164. ムン カネガチナー、テレビ ミーンナ。
ご飯を食べながらテレビを見るな。[伊]
165. サトイモ ニーガチナ、テレビヤ ミーンナ。
里芋を煮ながら、テレビを見るな。[伊]

3. 12. 時間状況をあらわす形式

人の行動、物の動きや変化、さまざまな現象は、ある場面の時間の流れの中で重なったり前後する。このような人の動作や物の変化や現象などの複数の出来事の重なりや前後関

係などの時間的な展開の在り方を捉えて、カヌヌヤカー（食べるまで）、カネハラ（食べてから）、カミヌメニ（食べる前に）などの形式で伝える。

○-jaka: (～まで)

動詞の連体形に-jaka: (まで) のついた形を述語にする場合は、ふたつの出来事の後続—先行を表し、従属節が表す出来事が終了する時間に主節であらわされている出来事が終了することを表す。

166. ムール ムール ニーヌヤカー マチョーキ。

魚を全部煮るまで待ってくれ。[伊]

167. ムール カヌヌヤカー マチョーキ。

ぜんぶ食べるまで待ってちょうだい。[伊]

○-hara (～してから)

動詞の第二中止形に-hara (から) のついた形を述語にする場合は、従属節の表す出来事が終了した後に主節の出来事が実現することを表す。

168. タウヤ ニーヌ メーネー マースネ ムネハラ ニーローヤ、 ヤファラク ナン。

タコは煮る前に塩で揉んでから煮ると柔らかくなる。[伊]

169. シジャヤ アシー カネハラ、 ハタキンケ ンジャン。

兄さんは昼飯を食べてから畑に行った。[伊]

170. デークニ ニーエハラ、 ミスジルン ツクタン。

大根を煮てから、味噌汁も作った。[伊]

○-ma:ru [勢理客] / -ma:du [伊是名] (～しないうちに)

述語動詞の否定形に-ma:ru / -ma:du (うちに) のついた場合は、従属節が表す出来事が終了するまでのどこかの時間に主節の出来事が実現することを表す。

171. ムール ニーランマードウ、 フィーヤ チャータン。

ぜんぶ煮ないうちに火が消えた。[伊]

172. アングワターガ フンマール ヤーヌ ナカ カタジキラニ。

姉さんたちが来ないうちに家の中を片付ける。[勢]

173. ワレーヌ フーンマール クワーシ ウチョーカニ / ホーヨーツン。

子どもが来ない前 (来る前に) にお菓子を用意しておこう。[勢]

次のように-ha:ne:を後接させる例もみられた。

174. ムール カマンヌハーネー カタジキラタン。

ぜんぶ食べないうちに片付けられた。[伊]

3.13. 連体形

	非過去	過去（第一過去）	過去（第二過去）
肯定	カヌヌ（食べる） カヌル（食べる）	カダヌ（食べた） ニータル（煮た）	アイタル（あった）
否定	カマンヌ（食べない）	カマナータン（食べなかった）	

175. カヌヌ メーニ ネーンナタン。
食べる前に無くなっていた。[伊]
176. アチャー カヌル フミー ホーエー フー。
 明日食べるコメを買ってきて。[伊]
177. チヌー カダヌ スバヤ マーハタン。
 昨日食べたソバはおいしかった。[伊]
178. アンマーガ ニータル サトイモヤ マーハタンヤー。
 母さんが煮た里芋は おいしかったねえ。[伊]
179. ナーウィネ アイタル シーウイヤ タガー ニーターカヤー。
 鍋にあったトウガンは誰が煮よったの？ [伊]
180. タルン カマンヌ ムンヤ ホーエーヤ ナラン。
 誰も食べない物は買ってはいけない。[伊]
181. フーチバー ジューシー カマナータン ワレンケヤ クワーシ クィーラン。
 ヨモギ雑炊を食べなかった子供にはお菓子をあげない [伊]

3.14. 条件文

伊是名諸方言の条件文にあらわれる形式は、おおきく、原因・理由、条件、契機などのまさめの関係をあらわす形式と、うらめ原因やゆずり状況などのうらめの関係をあらわす形式とにわかれる。

-tu 条件形（原因・理由をあらわす条件形）

-tu 条件形は、原因・理由をつきそい文にさしだすときに用いられる。意味・機能的には、現代日本語のノデ条件形、カラ条件形に対応する。現代日本語の場合には、「するので」のかたちがせまい意味での原因をあらわし、「するから」のかたちが理由をいいあらわすというちがいがあがるが、伊是名諸方言のばあいにはそれらを区別してあらわす形式は分化していないようである。

	非過去	過去（第一過去）	過去（第二過去）
肯定	カヌトゥ（食べるから）	カダトゥ（食べたから）	カヌタトゥ（食べよったから）
否定	カマントゥ（食べないから）	カマナータトゥ（食べなかったから）	

○いいおわり文が過去の出来事の場合

過去に実行された行動がいいおわり文で述べられ、話し手の立場からその行動を起こした理由や意図や動機がつきそい文で述べられる。自分のやった行動をいいおわり文で述べる場合、つきそい文では行動を起こした理由や意図や動機を述べてその正当性を主張する。

182. シジャガ ニータトゥ ワンヤ ニーラナータン。

兄さんが煮たから、私は煮なかった。[伊]

183. マーガヌ チャートゥ、 マジュン アシダン。

孫たちが来たから、一緒に遊んだ。[勢]

184. ユーキエー タルン フーナタトゥ、 シミタン / フータン。

夜になって誰も来なかったから、閉めた。[勢]

○いいおわり文が意志文の場合

つきそい文には、行動を起こす動機や理由がさしだされている。

185. アチャヤ フーン ハジ。ハルンケ イチュトゥ フーン。

明日は来ないんだろう？（うん、畑に行くから、来ない。）[勢]

186. チンヌー カマナータトゥ クー カマー。

昨日食べなかったから、今日食べよう。[伊]

187. チンヌーヤ ニーラナータトゥ クーヤ ニーラ。

昨日は、煮なかったから、今日煮よう。[伊]

○いいおわり文が命令文や禁止文、勧誘文

話し手にとって望ましい動作を聞き手に要求したり、逆に不利益を被らないように忠告している。この時つきそい文には、動作を要求する動機となる出来事や、忠告の根拠がさしだされている。

188. アチャン サシミ カヌトゥ、 ホーエー フー。

明日もサシミを食べるから、買って来い。[伊]

189. ナー カタジキートゥ、 ヘーク カミー。

もう片付けるから、急いで食べろ。[伊]

190. ウヌ トーフヤ シーヨートゥ、 カミンナ。

その豆腐は腐っているから、食べるな。[伊]

191. アサッティヤ ヤーネ ウラントゥ フーンナ。

あさっては、家にいないから、来るな。[勢]

○いいおわり文が推量や判断をあらわす場合

つきそい文でさしだされている現実におこった出来事や予定している出来事は、話し手が判断するに至った根拠である。

192. アングラーガ チュートゥ マーガン チューカヤー。

姉さんたちが来るから、孫も来るかな。[勢]

193. チンヌーン ワーシ ニタトゥ、 クーヤ ニーラナータン。

昨日も豚肉を煮たから、今日は煮なかったんだろう？ [伊]

194. ユービンヤガ チャートウ、 ティガミガ アインドー。
郵便屋が 来たから、手紙があるんだよ。 [勢]

次のような例も話し手の判断が*いいおわり文*にさしだされており、つきそい文にはその根拠がさしだされている。

195. ウヌ ユーヤ ヒッサ ワハハートウ ナー ワハハナン シヌン。
その お湯はさっき沸かしたから、もう沸かさなくてもいい。 [伊]
196. クー カダトウ、 アチャヤ カマナン シヌン。
今日食べたから、明日は食べなくてもいい。 [伊]

次のように原因・理由以外をあらわす例もみられた。最初の2例は中止形の否定の形と言い換えが可能と思われる。最後の例はうらめ的なつきそいあわせ文になっている。

197. アンマーガ ニーローヤ、 ムール ヌーハントウ カヌン。
母さんが煮れば、みんな残さず食べる。 [伊]
198. タンメーヤ ムン カマントウ クスイ ヌヌタン。
おじいさんはご飯を食べないで、薬を飲みよった。 [伊]
199. タルン カマントウ ンムー ニータン。
誰も食べないのに、芋を煮た。 [伊]

-o:条件形（前提・仮定・条件をあらわす）

肯定	カモー（食べるなら・食べたら）
否定	カマナーコー（ヤ）（食べないなら・食べなかったら）

○前提・仮定としてはたらく場合

つきそい文に話し手が設定した出来事をさしだし、*いいおわり文*にはつきそい文の出来事をめぐる話し手、または聞き手にとって望ましい出来事がさしだされている。出来事的时间関係は後続・先行となる。*いいおわり文*には命令、勧誘、禁止をあらわす文があらわれる。

200. マーガガ ファー、 マジュン アシワニ。
孫たちが来たら、いっしょに遊ぼう。 [勢]
201. アングラータガ チューロー、 クワッチー チュクヨーカ。
姉さんたちが来るなら、ご馳走をつくっておこう。 [勢]
202. ヤーガ カミーフナーコー、 ワガ カヌン。
お前が 食べられないなら、俺が食べよう。 [伊]

文全体が現実とは反対の、非リアルな自体をさしだしている例がみられた。*いいおわり文*には第二過去形が述語にもちいられている。

203. へークハラ シーブン ソータロー / ソーコーヤ、チャクヤ ナーヒン チュータル ハジ。

以前からサービス（おまけ）をしていれば、客はもっと来よっただろう。〔勢〕

204. シーブン ソータロー チュタガヤー。

サービス（おまけ）していたら、来たのかな。〔勢〕

○条件としてはたらく場合

つきそい文現実に存在すると仮定された出来事をさしだし、それを条件として、いいおわり文にその出来事をもとに新しくおこってくると予想される出来事を述べる。

205. タウヤ ニーヌ メーネー マースネ ムネハラ ニーローヤ、ヤファラク ナン。

タコは煮る前に塩で揉んでから煮たら、柔らかくなる。〔伊〕

206. パッパヤー カモー、チー ユー ンジーン。

パイヤを食べたら、お乳がよく出る。〔伊〕

-figa 条件形（うらめ原因をあらわす）

figa 条件形は、うらめ原因的な関係をあらわすつきそい文の述語になる。現在や過去の事実的なうらめ原因的な関係をあらわし、つきそい文にもいいおわり文にもリアルなできごとが表現される。

	非過去	過去（第一過去）	過去（第二過去）
肯定	カヌシガ（食べるのに）	カダシガ（食べたのに）	※未確認
否定	カマンシガ（食べないのに）	カマナータシガ（食べなかったのに）	

207. レイゾウコネ ワーシ アイシガ ヌガ ニーランル？

冷蔵庫に豚肉があるのに、何故煮ないの？〔伊〕

208. グンボーヤ ニーンナテ イチャシガ ニール シチ？

ゴボウは煮るなっていったのに、煮たのか？〔伊〕

209. ワザワザ シマンケ チャーシガ アミガガイル ファイル。

せっかく島に来たのに、雨ばかり降っていた。〔勢〕

ならべ・あわせ文のなかであらわれる例もみられた。

210. デークニヤ ユー ニーシガ、シウイヤ ウンテマディ ニーラン。

大根はよく煮るが、冬瓜はあまり煮ない。〔伊〕

211. トウイヌ ニクヤ ニータシガ、ワーシェー ニーラナータン。

鶏肉は煮たが、豚肉は煮なかった。〔伊〕

-n 条件形（ゆずり状況としてはたらく）

肯定形の場合、第三中止形に-n を後接させてつくる。否定形の場合も中止形の否定の形に-n を後接させる。

212. イキガヤ パッパヤー カネーン、チーヤ ンジラン。

- 男はパイヤを食べても、お乳は出ない。[伊]
213. ウットウガ ユー ニーエン、 タガン カマン。
弟が魚を煮ても、だれも食べない。[伊]
214. ムール ニーラナン ヤーニンジュヌ ブンヤ アン。
全部煮なくても、家族の分はあるよ。[伊]

-ten 条件形（ゆずり状況としてはたらく）

最後の例のように、-tin があらわれている例がみられた。言語接触の影響かどうかは不明である。

215. アリヤ ドウシガ ヤンケ チャーnten、チャーン ンジャサン。
あいつは友達が家に来ても、お茶も出さない。[勢]
216. クワンソー カマナータンテン ヌーラリン。
クワンソウを食べなくても、眠れる。[伊]
217. アリヤ ドウシヌ チャーnten チャー ンジャハニ。
あいつは友だちが来るのに、お茶さえ出さないのか？[勢]
218. アキエー フナーティン ンーチュナティヤ ムールネ チューサ。
来年来れなくても、再来年はみんなで来よう。[勢]

参考文献

- 工藤真由美（1996）「否定のAspect・テンス体系とディスコース」『ことばの科学』7,81-136.
- 仁田義雄他（2002）『モダリティ』くろしお出版
- 中野遥楓（2020）「名護市久志方言における条件づけを表現するつきそい・あわせ文—その機能と体系性—」（琉球大学大学院修士論文）